

ワクチンを受けるのに注意が必要な方など

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ
「新型コロナワクチンQ&A『私は接種できますか?』」をご覧ください。



以下に当てはまる方は、ワクチンを受けることができない場合や、注意が必要な場合があります。
接種に不安がある方は、かかりつけ医等にワクチンを受けて良いかどうかご相談ください。

<p>受けることが できない方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○明らかな発熱がある方や、重い急性疾患にかかっている方 ○ワクチンの成分(※1)に対し、重度の過敏症を起こしたことがある方
<p>注意が必要な方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○現在、何らかの病気で治療中の方 <ul style="list-style-type: none"> ・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患、免疫不全で治療中の方 ・血が止まりにくい病気の方や、血をサラサラにする薬(※2)を飲んでいる方 ○以下の様な症状が出たことがある方 <ul style="list-style-type: none"> ・薬や食品に対する重いアレルギー症状 ・けいれん(ひきつけ)

(※1) ポリソルベートなどが成分として含まれます。ポリソルベートは、既に承認されている複数のワクチンに含まれています。また、様々な医薬品に添加剤として含まれており、化粧品にも含まれていることがあります。その他の成分や、詳細については、厚生労働省ホームページをご参照ください。

(※2) このワクチンは、筋肉内に注射をします。そのため、抗凝固薬(ワーファリン[®]、プラザキサ[®]、イグザレルト[®]、エリキュース[®]、リクシアナ[®])を内服中の方は、接種後の出血に注意が必要です。

○妊娠及び授乳婦への接種に対する特別な懸念は認めていません。妊婦又は妊娠している可能性がある女性には、予防接種上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ接種することができます。接種についてお悩みの方は、主治医にご相談ください。

○新型コロナウイルスに感染したことがある方も、ワクチンを接種することができます。いつから接種できるか不明な場合は、主治医にご確認ください。



ワクチン接種の申し込み方法など

■「接種券」を確認する

お住まいの市町村から届いた「接種券」と同封の案内をよく確認して、接種の準備を進めてください。



■ 医療機関/接種会場を探す

- ・お住まいの都道府県や市町村のホームページなどで、ワクチンを受けることができる医療機関や接種会場を確認しましょう。
- ・ヌバキソピッド(武田社)を受けることができる会場は、コロナワクチンナビでも表示されます。

接種総合案内サイト「コロナワクチンナビ」

サイトアドレス：
<https://v-sys.mhlw.go.jp>



■ 予約する

ワクチンを受けたい医療機関／市町村にお問い合わせください。ワクチンの種類は複数あります。どのワクチンを接種するかは、予約の際にご確認ください。

■ 当日の持ち物を準備する

- ・接種券(はがさず台紙ごとお持ちください)
- ・本人確認書類
(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証 等)



「接種券」(例)



マイナンバーカード 等

- ・医療機関や接種会場が探せない場合や、ご不明な点がある場合など、お住まいの市町村にお問い合わせをすることができます。
- ・「接種券」は市町村から送付されます。
- ・予約時に接種するワクチンの種類をご確認ください。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。



ワクチンを受ける当日について

◎ワクチンを受ける前の注意点

接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、予約した市町村の窓口や医療機関にご連絡ください。

通常、上腕の三角筋に注射するため

肩を出しやすい服装でお越しください。



◎ワクチンを受けた後の注意点

接種会場にて

ワクチンを受けた後は、15分以上は
接種会場で座って様子を見てください(※)。

(※) 過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、30分ほどお待ちください。



接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

○アナフィラキシー

- ・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。
- ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。
- ・起こることはまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、適切な医療体制を整備しています。

○血管迷走神経反射

- ・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。
- ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。
- ・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子を見てください。

➔ 接種後7日間に現れた症状については、2ページをご参照ください。

ワクチンを受けた後について

◎初回接種(1・2回目接種)：ワクチンは通常、**同じワクチンを2回接種**します。

標準の接種間隔

1回目接種後、通常、**3週間の間隔**を空けて接種します。

- 標準の接種間隔を超えても、2回目の接種を受けることができますので、なるべく早く2回目を受けましょう。
- 2回目の予約方法については、1回目を受けた医療機関や接種会場、自治体の案内をご確認ください。
- 接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種は控えた方がよいこともあります。接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

◎追加接種(3回目接種)

標準の接種間隔

2回目の接種完了から、**6か月以上の間隔**を空けて接種します。

- 1回目や2回目の接種に用いたワクチンの種類に関わらず、このワクチンの接種が可能です。
- 3回目の予約方法については、1・2回目を受けた医療機関や接種会場、自治体の案内をご確認ください。
- 接種後に現れた症状の種類によっては、3回目の接種は控えた方がよいこともあります。接種後に気になる症状が現れた方は、3回目を受けるかどうかも含めて、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

ワクチンを受けた後も マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ十分には分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体例)



密集場所



密接場面



密閉空間

「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避



マスクの着用



石けんによる手洗い



手指消毒用アルコールによる消毒の励行

ご相談先など

◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に 体に異常があるとき	➔	ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、 市町村や都道府県の窓口
ワクチン接種全般に 関するお問い合わせ	➔	市町村の窓口

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金の給付など)が受けられます。

申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンに便乗した詐欺にご注意ください!

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のために必要としたり、金銭や個人情報をだましとろうとする電話に関する相談が消費生活センターへ寄せられています。

市町村等が、ワクチン接種のために金銭や
個人情報を電話・メールで求めることは
ありません。

困ったときは一人で悩まず、消費者ホットライン
188(局番なし)にご相談ください。



新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページ
をご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索

ホームページをご覧になれない場合は、
お住まいの市町村等にご相談ください。



新型コロナワクチンの有効性と安全性

新型コロナワクチンは、発症を予防し、重症者や死亡者の発生をできる限り減らすことを目的としています。

◎ワクチンの特徴

このワクチン(ヌバキソビッド)は、ノババックス社より製造技術移管を受けた、武田社製のワクチンです。新型コロナウイルスの表面にあるタンパク質の設計図(遺伝子)をもとにつくられた組換えタンパクワクチンです。

ワクチンとして投与すると、これに対する免疫ができ、新型コロナウイルス感染症の予防ができます。このような組換えタンパクワクチンは不活化ワクチンの一種であり、B型肝炎ウイルスワクチンなど、既に使用された実績があります。

◎接種の対象: 18歳以上の方が接種の対象です。

◎ワクチンの効果: 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症の予防

■ 初回接種(1・2回目接種)

オミクロン株が流行する前のデータではあるものの、臨床試験を通じて、約90%の発症予防効果が確認されています。また、オミクロン株に対しても、接種により中和抗体価(ウイルスの感染力又は毒素の活性を中和できる抗体の値)が上昇したとの報告があります。

■ 追加接種(3回目接種)

3回目接種から28日後の中和抗体価は、2回目接種から14日後の中和抗体価よりも約4倍高く、一定の有効性が期待できるとされています。

初回接種で他のワクチンを接種し、追加接種でヌバキソビッドを接種した場合、海外で実施された試験では、抗体価が有意に上昇したことが報告されています。また、オミクロン株に対しても、ヌバキソビッドを3回接種することで中和抗体価が上昇したとの報告があります。

◎ワクチンの安全性

■ 接種後7日間に現れた症状

報告割合	1回目接種後	2回目接種後	3回目接種後
50%以上		圧痛 65.2%	圧痛 81.4% 疲労 63.3% 疼痛 54.6% 筋肉痛 51.0%
10-50%	圧痛 48.2% 疼痛 26.9% 疲労 23.1% 頭痛 21.6% 筋肉痛 20.0% 倦怠感 12.2%	疼痛 45.6% 疲労 35.6% 筋肉痛 30.8% 頭痛 29.6% 倦怠感 26.4% 関節痛 14.8%	倦怠感 46.9% 頭痛 45.9% 関節痛 28.6% 発熱 17.3% 悪心・嘔吐 13.3% 腫脹・硬結 11.3% 紅斑 10.3%
1-10%	関節痛 6.7% 悪心・嘔吐 5.9% 発熱 2.4%	悪心・嘔吐 7.2% 腫脹・硬結 5.6% 紅斑 4.8% 発熱 4.4%	

(注) 対象: 1回目接種後253人、2回目接種後250人、3回目接種後97人

出典: 審査報告書より改編

➡ 接種後すぐにアナフィラキシーや血管迷走神経反射が起こる可能性があります。詳しくは5ページをご参照ください。